

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ(株)
取締役 常務執行役員

山下 浩司 氏

取締役 常務執行役員

遠藤 靖 氏

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ(株) (横浜市 都筑区) は、1951年に前身である「港通信機製作所」として東京都港区で創



山下氏



遠藤氏

た今でも続く主力事業へと成長した。同社取締役 常務執行役員の山下浩司氏と同じく取締役 常務執行役員の遠藤靖氏に、各事業について聞いた。

—— デバイスプログラミング事業の概要と強みは。山下 カーナビをはじめとする車載向けや、スマー

車載用デバイスプログラマが好調

ROM書き込み拠点は能力増強へ

当社の製品は大容量のメモリに対して高速に書き込みができ、顧客の需要に

しているようですね。山下 プログラムを購入するということは設備投資を要するということ。安定的に書き込みの業務が発生す

サービスだけでなくモノづくりも行っている」という理由から選定いただいた。20年に生産が、翌21年には

遠藤 2つのカメラとレンズで物体の距離や大きさを測るステレオカメラを、東京工業大学発ベンチャー

21、22年前半までには5倍以上の広さになる見込み。全体の完成は24年8月を予定している。

—— そのほかの特徴は。山下 技術的なものではないが、我々はデバイスの形状や容量の変化に素早く対応している。いくら高速に稼働していても、その品種に合う製品がなければ売

ればよい。そのほかの事業についてもお伺いします。遠藤 タッチパネル事業では、光が遮られた場所を検知することでタッチの有

無を判定する「赤外線方式」を採用している。信頼性が

は、安川オートメーション・ドライブ(株)と、クレインを用いた貨物の積み上げ・積み下ろしにISCを活用

る。ただ、事業化するためにはAIなどで構造パターンを構築して認識能力を持たせなければいけない。それを完成させるのははまだ時間がかかるが、なるべく早く実用化できるように、鋭意取り組んでいる。

逆に、当社しかサポートしていない品種であれば必ず導入していただけるので、幅広い品種をサポートすることが重要だ。プログラマ

—— 一方、ROMの書き込みを行うサービスも提供

—— インテリジェント・ステレオカメラ(ISC)については。

—— 今後の設備投資として、横浜本社の建て替えが発表されました。詳細は。

山下 前述の日本サムスン、トリーメンデバイスの共同プロジェクトは調剤に

